

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	生活環境論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	普通教室
担当教員	可成 孝多	実務経験とその関連資格	理学療法士として、医療機関や介護施設、また行政機関との連携等、実務経験あり			
《授業科目における学習内容》						
①ICFの概念を知り、生活環境から動作が変化することを理解する。 ②介護保険・障がい者に関わる制度を理解する。 ③福祉用具、住宅改修に必要な基本的知識を身につける。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト(全5回)50% 科目修得試験50% その他授業への参加態度や学習へ向かう姿勢なども場合によって査定対象とする						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準理学療法学 専門分野 日常生活活動学・生活環境学(第5版)						
《授業外における学習方法》						
授業を理解するために予習・復習を通して、自主的に調べ学習をすること。						
《履修に当たっての留意点》						
分からないことは、その日に解決できるように自主的に学習をしましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	①ICFの概念を知り、生活環境から動作が変化することを理解する。 ②介護保険・障がい者に関わる制度を理解する。		テキスト 配布資料	事前学習 シラバスを読んでおく(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)	
	各コマにおける授業予定	生活環境福祉論 概論				
第2回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	①ICFの概念を知り、生活環境から動作が変化することを理解する。 ②介護保険・障がい者に関わる制度を理解する。		テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)	
	各コマにおける授業予定	生活環境福祉論 概論②				
第3回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	①ICFの概念を知り、生活環境から動作が変化することを理解する。 ②介護保険・障がい者に関わる制度を理解する。		テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)	
	各コマにおける授業予定	生活環境と法的諸制度				
第4回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	①ICFの概念を知り、生活環境から動作が変化することを理解する。 ②介護保険・障がい者に関わる制度を理解する。		テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)	
	各コマにおける授業予定	生活環境としての整備・改修①				
第5回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	①ICFの概念を知り、生活環境から動作が変化することを理解する。 ②介護保険・障がい者に関わる制度を理解する。		テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリント整理と復習を行う(40分)	
	各コマにおける授業予定	生活環境としての整備・改修②				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	ノーリフトポリシーによる基本動作介助技術を身に着ける		テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリン ト整理と復習を行う(40分)
	各コマに おける 授業予定	寝返り動作テクニックの実践			
第7回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	ノーリフトポリシーによる基本動作介助技術を身に着ける		テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 住宅改修 事後学習 配布資料・プリン ト整理と復習を行う(40分)
	各コマに おける 授業予定	起き上がり動作テクニックの実践			
第8回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	ノーリフトポリシーによる基本動作介助技術を身に着ける		テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリン ト整理と復習を行う(40分)
	各コマに おける 授業予定	移乗動作テクニックの実践			
第9回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	福祉住環境整備の基本技術を理解する		テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリン ト整理と復習を行う(40分)
	各コマに おける 授業予定	臨床訪問現場での住環境評価①			
第10回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	福祉住環境整備の基本技術を理解する		テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリン ト整理と復習を行う(40分)
	各コマに おける 授業予定	臨床訪問現場での住環境評価②			
第11回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	身近な住環境について評価ができる		テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリン ト整理と復習を行う(40分)
	各コマに おける 授業予定	グループワーク			
第12回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	身近な住環境について対応策・改善策を提案できる		テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリン ト整理と復習を行う(40分)
	各コマに おける 授業予定	グループワーク			
第13回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	住環境整備について学んだ知識をアウトプットできる		テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリン ト整理と復習を行う(40分)
	各コマに おける 授業予定	グループ発表			
第14回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	住環境整備について学んだ知識をアウトプットできる		テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリン ト整理と復習を行う(40分)
	各コマに おける 授業予定	グループ発表②			
第15回	講義実習形式 授業を 通じての 到達目標	生活環境福祉としての理学療法士の関わりを認識する		テキスト 配布資料	事前学習 学習内容を予習する(20分) 事後学習 配布資料・プリン ト整理と復習を行う(40分)
	各コマに おける 授業予定	総括など			